



2026年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年10月30日

上場会社名 株式会社正興電機製作所 上場取引所 東・福
コード番号 6653 URL <https://www.seiko-denki.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 添田 英俊
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営統括本部長 (氏名) 田中 勉 (TEL) 092-473-8831
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第3四半期の連結業績(2026年1月1日～2026年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第3四半期	24,460	17.6	2,240	24.8	2,574	20.4	1,865	36.1
2025年12月期第3四半期	20,803	2.6	1,794	33.4	2,138	26.6	1,370	26.7

(注) 包括利益 2026年12月期第3四半期 2,019百万円(7.0%) 2025年12月期第3四半期 1,888百万円(4.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第3四半期	137.88	—
2025年12月期第3四半期	101.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第3四半期	34,286	19,402	56.6
2025年12月期	34,715	18,089	52.1

(参考) 自己資本 2026年12月期第3四半期 19,402百万円 2025年12月期 18,089百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2026年12月期	—	30.00	—	—	—
2026年12月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年1月1日～2026年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	14.7	3,000	14.7	3,600	15.2	2,500	22.7	184.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 、 除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期 3 Q	13,908,595株	2025年12月期	13,908,595株
② 期末自己株式数	2026年12月期 3 Q	369,846株	2025年12月期	383,148株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期 3 Q	13,532,090株	2025年12月期 3 Q	13,509,467株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(収益認識関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。一方、物価上昇の継続や中東情勢をはじめとする地政学的リスクなど、先行きについては引き続き注視が必要な状況にあります。

こうした環境下において、設備投資の動向につきましては、老朽化した社会インフラ設備の更新需要など、国土強靱化に向けた公共投資が底堅く推移しました。また、企業のデジタル投資の拡大やA Iの普及に伴う電力需要の増加を背景として、データセンターや蓄電所などエネルギー関連分野への投資については、引き続き継続することが想定されます。

このような状況の中、当社グループは中期経営計画（S E I K O I C 2 0 2 6）の基本方針である「企業活動・事業活動を通じた社会課題解決により、サステナブルな社会の実現に貢献する」のもと、「デジタル技術を活用した社会課題解決」「カーボンニュートラルへの取り組み」「O n e 正興によるグループ総合力の発揮」の3つの重点施策に取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間におきましては、環境エネルギー部門の公共分野において、水処理設備向け監視制御システムやサービス部門において、データセンター、蓄電所向け電気設備が堅調に推移し、受注高は34,726百万円（前年同期比 9.7%増）、売上高は24,460百万円（同 17.6%増）となりました。

損益につきましては、環境エネルギー部門の公共分野において、利益率が改善したこと等により、営業利益は2,240百万円（同 24.8%増）、投資有価証券の売却などにより、経常利益は2,574百万円（同 20.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,865百万円（同 36.1%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(電力部門)

総合制御所向けシステム（O T）や操作支援システムなどのスマート保安システムは堅調に推移したものの、配電機器分野が低調となり、売上高は6,179百万円（前年同期比 2.5%増）、セグメント利益は835百万円（同 7.8%減）となりました。

(環境エネルギー部門)

国内公共分野において、水処理設備向け監視制御システムの売上が増加したことや生産、現地工事が順調に進捗したことから利益率も改善し、売上高は10,041百万円（前年同期比 15.2%増）、セグメント利益は1,044百万円（同 160.6%増）となりました。

(情報部門)

ヘルスケア分野において、介護認定支援システム等の開発案件が増加し、売上高は1,362百万円（前年同期比 16.6%増）となりましたが、開発期間の長期化により開発コストが増加し、セグメント損失は34百万円（前年同期セグメント利益101百万円）となりました。

(サービス部門)

太陽光発電所向けなど再生可能エネルギー関連設備やデータセンター、蓄電所等が堅調に推移し、売上高は5,070百万円（前年同期比 65.7%増）、セグメント利益は156百万円（同 67.1%増）となりました。

(その他)

発電・変電所向け工事において、一部工期延長となったこと等により、売上高は1,806百万円（前年同期比 1.3%減）、セグメント利益は237百万円（同 18.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間の流動資産の残高は、前連結会計年度と比較して2,700百万円減少の18,911百万円となりました。これは主に、現金及び預金が2,259百万円増加した一方で、受取手形、売掛金及び契約資産が5,133百万円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間の固定資産の残高は、前連結会計年度と比較して2,271百万円増加の15,375百万円となりました。これは主に、ひびきの研究開発センター建設に伴い、その他に含まれる建設仮勘定が1,894百万円増加したことや、投資有価証券が時価の上昇等により381百万円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間の流動負債の残高は、前連結会計年度と比較して1,668百万円減少の11,705百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が1,835百万円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間の固定負債の残高は、前連結会計年度と比較して73百万円減少の3,179百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間の純資産の残高は、前連結会計年度と比較して1,313百万円増加の19,402百万円となりました。これは主に、利益剰余金が配当により744百万円減少した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益が1,865百万円の計上により増加したことや、その他有価証券評価差額金が投資有価証券の時価の上昇により178百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2026年12月期第2四半期(中間期)決算発表時(2026年7月24日)の予想から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,260	5,520
受取手形、売掛金及び契約資産	14,942	9,809
商品及び製品	797	877
仕掛品	1,851	1,869
原材料	415	530
その他	361	321
貸倒引当金	△16	△16
流動資産合計	21,612	18,911
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,133	4,012
その他（純額）	3,311	5,279
有形固定資産合計	7,445	9,291
無形固定資産	220	248
投資その他の資産		
投資有価証券	5,215	5,596
その他	227	244
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	5,437	5,835
固定資産合計	13,103	15,375
資産合計	34,715	34,286
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,106	4,271
電子記録債務	1,584	1,173
短期借入金	655	228
未払法人税等	840	448
契約負債	1,529	2,153
賞与引当金	-	1,350
工事損失引当金	72	70
その他	2,583	2,007
流動負債合計	13,373	11,705
固定負債		
長期借入金	323	151
退職給付に係る負債	1,636	1,629
その他	1,292	1,397
固定負債合計	3,252	3,179
負債合計	16,626	14,884

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,323	3,323
資本剰余金	2,746	2,777
利益剰余金	9,544	10,666
自己株式	△179	△172
株主資本合計	15,434	16,594
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,625	2,803
為替換算調整勘定	△65	△89
退職給付に係る調整累計額	94	93
その他の包括利益累計額合計	2,654	2,808
純資産合計	18,089	19,402
負債純資産合計	34,715	34,286

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年9月30日)
売上高	20,803	24,460
売上原価	16,543	19,524
売上総利益	4,260	4,936
販売費及び一般管理費	2,465	2,695
営業利益	1,794	2,240
営業外収益		
受取利息	8	17
受取配当金	56	77
投資有価証券売却益	308	248
その他	37	78
営業外収益合計	410	422
営業外費用		
支払利息	18	20
固定資産除却損	0	16
その他	47	50
営業外費用合計	66	88
経常利益	2,138	2,574
税金等調整前四半期純利益	2,138	2,574
法人税、住民税及び事業税	879	801
法人税等調整額	△112	△92
法人税等合計	767	708
四半期純利益	1,370	1,865
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,370	1,865

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年9月30日)
四半期純利益	1,370	1,865
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	510	178
為替換算調整勘定	6	△23
退職給付に係る調整額	0	△0
その他の包括利益合計	517	153
四半期包括利益	1,888	2,019
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,888	2,019

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電力 部門	環境 エネルギー 部門	情報 部門	サービス 部門	計				
売上高									
一時点で移転される 財又はサービス	2,517	1,719	402	1,132	5,771	1,250	7,022	—	7,022
一定の期間にわたり 移転される財又は サービス	3,513	6,994	766	1,917	13,192	578	13,770	—	13,770
顧客との契約から 生じる収益	6,031	8,714	1,168	3,049	18,963	1,829	20,792	—	20,792
その他の収益	—	—	—	10	10	—	10	—	10
外部顧客への売上高	6,031	8,714	1,168	3,060	18,974	1,829	20,803	—	20,803
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	9	337	543	892	283	1,175	△1,175	—
計	6,032	8,723	1,506	3,604	19,866	2,112	21,979	△1,175	20,803
セグメント利益	906	400	101	93	1,502	291	1,794	—	1,794

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、制御機器、電子装置、調光フィルム、電気工事及び機械器具設置工事等に関する事業であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2026年1月1日 至 2026年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電力 部門	環境 エネルギー 部門	情報 部門	サービス 部門	計				
売上高									
一時点で移転される 財又はサービス	2,105	2,203	564	1,290	6,164	1,272	7,437	—	7,437
一定の期間にわたり 移転される財又は サービス	4,074	7,837	797	3,767	16,477	533	17,011	—	17,011
顧客との契約から 生じる収益	6,179	10,041	1,362	5,058	22,642	1,806	24,448	—	24,448
その他の収益	—	—	—	11	11	—	11	—	11
外部顧客への売上高	6,179	10,041	1,362	5,070	22,654	1,806	24,460	—	24,460
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	26	327	508	863	255	1,118	△1,118	—
計	6,180	10,067	1,690	5,579	23,517	2,061	25,579	△1,118	24,460
セグメント利益又は 損失(△)	835	1,044	△34	156	2,002	237	2,240	—	2,240

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、制御機器、電子装置、調光フィルム、電気工事及び機械器具設置工事等に関する事業であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年9月30日)
減価償却費	325百万円	349百万円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報)」に記載のとおりであります。